

平成 24 年 度

八代市議会総務委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

平成 25 年 2 月 5 日（火曜日）

総務委員会会議録

平成25年2月5日 火曜日

午前10時00分開議

午前11時08分開議（実時間 68分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査
（総合計画後期基本計画（案）について）

○本日の会議に出席した者

委員長	亀田英雄君
委員	太江田茂君
委員	笹本サエ子君
委員	鈴木田幸一君
委員	友枝和明君
委員	野崎伸也君
委員	藤井次男君

※欠席委員 成松由紀夫君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者 君

○説明員等委員（議）員外出席者

企画戦略部長	永原辰秋君
企画政策課長	丸山智子君

○記録担当書記 竹岡雅治君

（午前10時00分 開会）

○委員長（亀田英雄君） それでは、改めまして、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

定刻となり、定足数に達しましたので、ただいまから総務委員会を開会いたします。

◎所管事務調査

- ・総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査
（総合計画後期基本計画（案）について）

○委員長（亀田英雄君） 本日は、当委員会の所管事務調査であります総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査を議題として、調査を進めます。

それでは、総合計画後期基本計画（案）について、執行部から報告の申し出がっておりますので、これを許します。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 委員長。

○委員長（亀田英雄君） はい。永原企画戦略部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）企画戦略部の永原でございます。

八代市では、現在、八代市総合計画、平成20年度から29年までの10年間の間の、今年度は前期計画の最終年度ということで、昨年度から後期基本計画の策定の作業をずっと進めております。いよいよ後期計画につきまして、その案がほぼまとまりましたので、本日皆さん方に御報告をさせていただきたいということでお時間をいただきました。詳細については、丸山企画政策課長が御説明申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 丸山企画政策課長。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）企画政策課の丸山です。よろしくお願いいたします。では、着座にて説明をさせていただきます。

○委員長（亀田英雄君） どうぞ。資料は皆さんお持ちですね。

○企画政策課長（丸山智子君） 本日の資料として、お手元に事前配付ということでこの後期

基本計画〔案〕というのをお配りさせていただいておりました。よろしゅうございますか。

○委員長（亀田英雄君） はい。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。まずこの計画案の前に、計画策定の経緯ということで、本日机の上にお配りいたしております1枚物ですね、計画策定経緯と書かれたものをござらんいただきたいと思います。

平成23年度から、総合計画策定の基礎調査を行いまして、その結果につきましては、平成24年4月16日の総務委員会におきまして説明をさせていただきましたので、御承知のとおりかと思います。

その後ですけれども、市内部の策定委員会や起案専門部会を開催いたしまして、計画案を策定してまいりました。こちらにございますとおり、昨年12月27日に計画案の策定に関する協議を行いまして、市長決裁を終え、今後の策定スケジュールのところでございますとおり、1月16日に第2回の総合計画策定審議会——これは外部委員によります諮問機関でございますが、こちらにこの計画案を市長から諮問をしたところでございます。この間に地域審議会での意見聴取、パブリックコメント、熊本県からの意見聴取も同時に行っております。

本日の総務委員会でいただきました御意見等も含めまして、次回、2月12日の第3回総合計画策定審議会に諮りまして、2月19日に答申をいただく予定といたしております。

それでは、計画案につきまして御説明をさせていただきます。

全145ページにわたります計画書でございますので、今回事前配付をさせていただきます。内容の個別、一つ一つ説明していきますと、非常に時間がかかりますので、もう既に御一読いただいているということを前提にさせていただきます、こちらからの説明は概略のみとさせていただきますと思いますので、よろし

くお願いいたします。

では、計画案の2ページをお願いいたします。

こちらに計画の構成と期間ということで図を掲載いたしております。平成20年度から29年度まで、10カ年の基本構想がございます。先ほど部長が申し上げたとおりでございます。

その下に前期、後期、5カ年の基本計画を策定いたしますが、基本構想は議会の議決をいただいて定めておりますので、こちらは今回変更することではなく、この基本構想に基づいた平成25年度から29年度までの後期の基本計画がこの計画案ということになります。

その内容といたしましては、3ページにございますとおりです。基本構想に掲げる5つの基本目標、これらを実現するための方策として、重点施策、5カ年で取り組む施策、地域の特性を活かしたまちづくり方針、計画推進の方策という構成にいたしております。

では続きまして、それぞれの項目の概略を説明させていただきます。

6ページをお願いいたします。

こちらからが第2部、重点施策となっております。重点施策につきましては、前期計画から位置づけを大きく変更した箇所ということになります。

7ページをござらんいただきたいのですが、この1、重点施策の考え方というところで記載いたしておりますとおり、前期基本計画におきましては、重点プロジェクトといたしまして、施策を横断的に5つのプロジェクトを掲げて推進してまいりました。

プロジェクトの個別の成果につきましては、例えば活力ある産業プロジェクトにおきましては、八代港の水深14メートル岸壁第1バースが整備されたこと、それから、人が集まるまちプロジェクトにおきましては、妙見祭の国重要文化財指定がなされたといえますことなど、そ

れぞれ大きな進展が見られたところでございます。

しかしながら、重点プロジェクトにつきましては、プロジェクトの中に幾つもの事業が入っておりまして、プロジェクト単位での評価が非常に難しいということと、各基本目標との関連性につきましても、横断的であったことから検証から難しいといった課題が見えてまいりました。こういった課題への対応を図るということから、後期計画におきましては、将来像、基本目標の内容に沿った形で重点施策を明示することでわかりやすい方向性を示すということ、それからまた、総合計画と来年度から本格的に始まります行政評価、それから、予算との一体的な連動を推進することという、主に2つの観点から、今回は5つの基本目標ごとに重点施策という形で設定を行うことにいたしましたところでございます。

各基本目標における重点施策の選定につきましては、市民アンケートや団体ヒアリングによる必要性、前期計画における進捗状況や各部局の課題をもとにした妥当性、時代の潮流等による緊急性あるいは優先性といった視点から検討を進めてまいりました。

具体的には、市民アンケートにおいて特に期待の高かった生活環境分野における災害対策の充実、農林水産業分野における担い手の育成、商工観光分野における雇用対策の推進など、各分野におけるアンケート結果をベースとしながら、5カ年における重点の方向性を決定しているところでございます。

例えば、基本目標の1では、誰もがいきいきと暮らすまちということで、将来の姿ということで枠囲みの部分を新たに設定しております。1では、一人ひとりの人権が尊重された差別のないまちづくりにみんなで取り組んでいますと。5年後のイメージをこのように掲げ、そのための重点施策として、人権教育、人権啓発の

推進、あらゆる分野での男女共同参画の促進といった施策を重点施策として行うということで、この後、それぞれの基本目標ごとに、幾つかの重点施策ということでそれぞれ設定をしているところでございます。

では続きまして、計画案の12ページをお願いいたします。

こちらからが第3部、5カ年で取り組む施策ということで、ただいま申し上げました重点施策を含むところで、各分野の基本目標ごとの施策を掲げたものになっております。

まず、13ページ、14ページをごらんください。

ここは、基本計画の各ページの見方といったものを示したのになっております。

13ページより、上から、現状と課題、基本方針、施策の体系の後に成果指標を設定しております。この成果指標は、まず市民にもたらそうとする成果を数値化してあらわすといったところで設定いたしましたもので、今回、成果指標の設定は初めて行っております。

次に、14ページでございますけれども、市民にもたらそうとする成果を実現するための取り組みということで、具体的な施策と内容、そのための行政活動の目標として、活動指標を設定しております。最後に、市民や地域の取り組みとして、それぞれの役割に触れております。

今回、先ほど申し上げましたとおり、成果指標というものを新たに設定いたしました。それからまた、それを実現するための指標としての活動指標といったものも設定いたしております。あとは後期5カ年の間、総合計画を推進することで、市民生活や社会に対してどういった効果をもたらすのか、また、その実現のために、行政がどういった活動を行うのか、そういったことをあらわすことに主眼を置いて設定いたしております。

以降、次の15ページ以降はですね、このよ

うな形で、第1章から第5章まで、この形式で記載をさせていただいているところでございます。内容につきましての詳細は、先ほど申し上げましたが、今回は省略をさせていただきたいと思っております。

それでは、こちら飛びまして、122ページをお願いいたします。122ページからが第4部、地域の特性を活かしたまちづくり方針ということになります。

123ページをお開きください。

ここでは、(2)の地域の設定ということにございますが、地域を日常生活圏や歴史的経緯、地勢、土地利用の状況などを基本にいたしまして、今後の地域間の連携や地域バランスなどを考慮して、3地域——西部地域、東部地域、南部地域に区分をいたしております。今回は、前期計画策定時も同様にこのような形で地域設定を行ってまいりました。ですので、前期計画のときの設定をそのまま継承するというところで、特に区分変更等を行わずに、実情に即したところの内容の変更等を行っているところでございます。

それぞれのまちづくりの目標と施策の方向性ですけれども、まず西部地域ですが、125ページにございますが、西部地域につきましては、主に平野部で構成されております。2つのまちづくりの目標ということで、八代の産業を牽引するまち、それから下の枠囲みの、人が集まるにぎわいのあるまちを設定したしております。

次に、東部地域です。主に泉、東陽地区の山間部になりますけれども、こちらでは127ページに設定しております。

豊かな自然とふれあい、歴史と伝統が息づくまち、美しい風景と魅力ある特産品に笑顔が集うまちといたしております。

それから、128ページの南部地域でございます。こちらは坂本町、それから二見、日奈

久、高田地域等での構成ということになります。ここでは、次の129ページに——128から129ですね、ございますとおり、清流と緑、観光資源を活かしたうおいのまち、若者が育ち、誰もが生きがいをもって暮らせるまちということで、各地域ごとに、それぞれ2つのまちづくり方針を掲げまして、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるということをやっております。

次に、130ページ以降でございます。

こちらからが第5部ということで、計画推進の方策としております。

これは第2部の重点プロジェクト、あるいは第3部の5カ年で取り組む施策、ただいまの第4部、地域の特性を活かしたまちづくり方針を推進していくための計画推進の方策ということで、計画全体に係る部分ということになっております。

131ページからが第1章、効率的・効果的な行財政の運営といたしております。

これは、行財政改革を中心に、行政の効率化の推進、それから財政の健全性の確保といった観点で、それぞれまとめております。

それから、138ページからが同じく第2章ということで、協働によるまちづくりの推進といたしております。

この中では、情報の共有化、それから市民参画の推進、協働と住民自治の推進といった柱立てをつくりまして、それぞれの内容をまとめているところでございます。

計画案といたしましては、簡単ではございますが以上ということになります。なお、まだこの中ではデータの等々は盛り込んでおりませんが、最新のデータを入れるということで、現在、図とか表とかも含めまして、実際の計画案になりましたときには、こちらも含めたところで、またお示しをさせていただきたいと思っております。

では、以上、簡単ではございますが、計画の概略についての説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（亀田英雄君） はい。以上の部分について、何か御質問、御意見はありませんか。

○委員（鈴木田幸一君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） はい。とてもまとまってから、いい計画ができたなというふうのを感じております。ただ、ちょっとわからないのがですね、せっかくこれをつくり上げるわけなんですけれども、一般市民に対して、どういった方法でこの計画を伝達ちゅうかな、情報を伝えていくちゅう考えを持っておられるか、ちょっとお聞きしたいと思いますけど。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。この計画につきましては、本体冊子と、それから概要版を作成することにいたしております。

概要版につきましては、町内回覧という形で、市民の皆さんに目に触れるようにということで部数を作成することにいたしております。それから、もちろん市報にも少し特集という形で掲載いたしますのと、ホームページには計画のデータのほうでですね、載せさせていただきたいと思っております。

○委員（鈴木田幸一君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） 私は、いつも思うんですけど、非常にいい計画を立てられるんですよ。ただ、そういった計画が、一般市民の方に伝わり、伝わって、自分のものとして伝わっていないというのを、そんな感じとですよ。

だけん、今の場合も、例えば言われたように、回覧という形ですよ。回覧というのはですね、表題だけしか見らぬとですよ。表題ぐらいしか見らぬとですよ、普通、一般の方でい

うのは。これ、せっかくこれつくってあるんですけれども、もっと一般の方が少し内容に食い込んだのを情報としてやっぱり受け入れるような方法は考えておられないのかば、ちょっとお聞きしたいんですけど。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。市のほうで出前講座ということで設定をいたしております。そのメニューとして、一項目入れております。既に新しい計画についてということでお申込みもいただいているところでございますので、そういった部分もPRしながらですね、できるだけきめ細かな御説明ができる機会をとっていきたいと思っております。（委員鈴木田幸一君「はい、わかりました。ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（亀田英雄君） はい。ほかに何かありませんか。

○委員（太江田茂君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、太江田委員。

○委員（太江田茂君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）それでは、一言だけ言わせてもらいます。

この策定、物すごくいい計画案ができております。できとるけれども、余りにも大ざっぱで、さっき言われたように、市民の方は何をことしはしよるばいと、何を目的でもってことしはやるんだというようなことが、いっちゃんはっきりした具体的な案が出てないと。ただ、物すごくいい言葉で並べ立ててはあるけれども、これを先ほど鈴木田議員も言われたとおり、何を市民の方に訴えて、浸透させていくのか。本年度は、仮に本年度は交通安全を重点的にやりましょうとか、楽しいまちづくりにするためには重点的に交通安全をやりましょうとか、いろんなそういう具体的な話が必要じゃないかなと思うとります。

これだけのページ数にこれだけのいいことばっかしを載せたやつは、すばらしいものというのは思うけれども、しかし、これが、先ほど話に出ておりますように、市民にどれだけ浸透していくのか。もう1回、基本に帰って、八代市民の皆さん方に、どうすればこれが浸透していくのか。ことしは目標を決めるとかなんとか、そういう具体的な案があってしかるべきじゃないかなと思いますので、一応そこら付近な行政としてはどやんか。

○企画政策課長（丸山智子君） よろしいですか。じゃあ、はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） はい、ありがとうございます。議員御指摘のとおりですね、こちらが総合計画ということで、市政全体を取りまとめたものになっておりますので、総合的で、非常に内容も広範にあるということと、総花的にならざるを得ないというところがございまして、そこをどのようにアピールしていくかというところで、私どもも大変苦慮したんですが、今回、先ほども御説明させていただきましたが、重点施策という形でですね、その中でも特に市が力を入れていくものということで、今回は初めて重点施策という設定をさせていただきました。

ですので、その部分についてはですね、重点的にやっていくんだということをお見せできたかと思っておりますが、また個別の計画につきましては、それぞれの事業ごとに実施計画なり、また具体的な行動計画のほうをつくってまいりますので、その中で明らかにさせていただくということで、総合計画はそれらの施策の方向性を取りまとめたものということですね、御理解をしていただければというふうに思っているところでございます。

○委員長（亀田英雄君） いいですか。

○委員（太江田茂君） はい。

○委員長（亀田英雄君） そういうことでいいですか。

ほかにございませんか。

○委員（笹本サエ子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、笹本委員。

○委員（笹本サエ子君） はい。まあ、そういうことで、非常に計画をされた内容というか、わかります。

そこで、これから具体的にね、各部署において決めていくんだというお話ですけど、特に要望としてですね、申し上げたいのは、私ども、議会報告会を、12月議会の報告会をやって、ハーモニーホールと、今回、高田と松高ということでやりましたが、その中に出てきたのがですね、特に男女共同参画と、それから協働のまちづくり、住民自治、平成27年度には全校区をやるという計画があるようですけども、その際に、役員体制をね、当然各地域で進めていくという段階に入ってるんじゃないかなと。こういうときに、ぜひね、そういう住民自治こそ男女が力を合わせてやっていく、女性の役割というのかなり大きいんじゃないかと思ってですね。

そこで、松高校区で報告をさせていただいた際に、ある御夫婦からですね、ぜひ女性をね、役員体制の中に入れていただきたい。で、地域でそのことをね、主張してもなかなか通らないと。だから、関係の執行部におかれては、地域で、例えば何名かね、役員体制が決まるときに、その中に女性がね、複数出るとか、そういう方針を持ってね、指導、援助していただきたいというお話が出てきたんです。

植柳校区においては6区あるけれども、その中で、各校区とも2名は女性を入れてくださいということで方針が出て、そういうふうに努力をして、それが実現してきてるということですから、ぜひそのところをですね、関係部局にお話をさせていただきたいというふうに思ってお

ります。いかがでしょうかね。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。ただいまの男女共同参画の推進につきましては、19ページでですね、基本的な考え方は示してございます。市全体として、そういった方針で進めましょうということ。

今、具体的に住民自治の組織のつくり方ということは、もう既に取り組みを進められてるところもございまして、これからところは地域協議会ごとにいろんな取り決めといいますか、要綱をつくったりとか、中身を協議をされてます。その中でですね、きちんとそういったものを、うたうべきだというような御指摘だと思いますので、当然我々もそういった視点です、おりますので、違う部署でそこは進めておりますけれども、それはきちんとつないで。行政としては19ページのこの基本方針として、そういったものを進めていくんだという基本方針を持っていますので、それを具体的にするのは、今、議員がおっしゃったことだと思いますので、そういう方向で進めていきたいというふうに思っております。よろしいでしょうか。

○委員（笹本サエ子君） はい、お願いします。もう一ついいですかね。

○委員長（亀田英雄君） はい、どうぞ。

○委員（笹本サエ子君） もう一つ、安心して出産・子育てできるまちづくりということで、今、（聴取不能）中で、いじめ問題が大きく取り上げられております。

そういう中で、これもまた保育士の方から意見が出たんですけどね、保育士の方の中でも、軽度の発達障害が見られるお子さんとかですね、いろんな、この子は障害があるんじゃないかなという、専門的に見て、そういう幼児がいると。しかし、それを保護者の方に伝えるということではね、とてもやっぱり抵抗があるんだ

と。どういう反応を示されるかというようなことで。

だから、ぜひ八代としてもですね、——それがどうしてそういうことを懸念するかというと、そういう子供たちがずっと成長していく過程で、どうしてもいじめられる側のね、子供になっていく。だから、早く発見をして、早く手当てをしていけば、これが発達段階になって未然に改善していける、健康児になっていくのになと思うけれども、それがなかなか保育士としては保護者にもきちんと伝えられないと。

だから、市として何か、そういう講演会とかですね、そういう集まりを、もし、していただくような企画があれば、そういう中に保護者の方を御案内してですね、もしかしたら、自分の子供もそういう対象児じゃないかなというようなことで、専門の医者とかね、相談に行けるんじゃないかというような、真剣な訴えがありました。

私もまだ、そういう部分ではまだ不勉強ですから、私自身も勉強させていただきますと言っておりますけれども、こども未来課のね、ほうにでも、そういう声を届けていただきますと助かります。

以上です。

○委員長（亀田英雄君） 永原部長、お願いしときますね。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい。ほかにございませんか。

○委員（野崎伸也君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。先ほど太江田議員が言われたんですけども、総花的なやつしか書けないんですよと、具体的なところはまだですね、書けないというような話されましたけれども、実際に活動指標とかっていうところで、23年の実績値から、今度目標値29年度とい

うのが掲げてあつとですけれども、じゃ、これをするに当たってですよ、各年度で、じゃ、どういったことをやっていくのかと。ことしはこういったことをやりますよと。で、ことしはこういったことをやって、大体ここまで引き上げますというような話の、表であつたり、取り組みの内容であつたりっていうのが、今後出ると、各課によって出されるというような認識でよろしいんですかね。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。先ほども前段で申し上げましたように、今回のつくり方として、いわゆる評価、どうやってきたんだ、それが次につながっていくと思うんですね。今おっしゃったように、じゃあ、次はどうするんだということを具体的に出てこなきゃいけない、施策として。そのために、この数値目標をきちんと掲げさせていただいて、それをもとに毎年度見直しをしていくという、これはローリング——実施計画の中でローリングしていくんですけれども、その中で、行政評価と、それに基づいた、——決算なんかでもそれを活動指標というふうにしておりますけれども、それと、予算づけ。予算づけの際もどういった方針で行くんだというもとなるものになるんじゃないかと。そういうことを明確にここでしてきたというふうに我々思っています。

今まで、それが非常にわかりにくかったといえますかね、横断的なものでくくっていたもんだから、余計わかりにくかったもんですから、今回は重点という形でつくらせていただいて、それをもとにした、もとちゅうか、それに基づいた目標値を数字であらわしてるっていうことでございますので、それが毎年毎年検証していかなきゃいけないということで、毎年度その辺は。もうじき予算あたりが出てまいりますけれども、そういったものできちんと検証され

て、実施されていくというよう形で進めていくというようなことになるのかなと。その大もとになるのがこれだというふうに我々は思っておりますので、そのように御理解いただければというふうに思います。

○委員長（亀田英雄君） 野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。ちょっと、まあ、言われる意味はわかったですけれども、何だろう。観光振興計画とかっていうのがあつて、あれも何年度かつていうような中期的なもので出されとったですけども、あの中には今年度はこういったことやりますよとか、こういったことやりますよっていうのは、ちゃんと年度で区切ってあつたんですよね。

だけん、今回のこういうやつも、こういうふうに総花的に23年、29年度までの実績って書いてあつとですけれども、じゃあ今年度はこうする、こうするっていう事業もいろいろ書いてあるですよ。じゃあ、どうするんだって。それに対して施策的にこういったことやりますよ、主な取り組みとかつて書いてあつとですけれども、じゃあそれが、毎年それをやっていくのか、じゃなくて、じゃあ29年度の間にこの年度でやるのかとか、そういったものがわかりにくいつていうのがありましたんで、各年度、これ毎年本当に、もう25年度からやっていくのかどうかつていうのが知りたいつていうのがあるんですよ。

主な取り組みつていうのが書いてある、羅列してあつとばつてん、それが本当に29年度の間で、29年度までにすればよかつていう話じゃなくて、もう、すぐに取り組んでいくのかつていうのをちょっとわからぬかつたもんだだけん、質問をしたところなんですよ。

で、やっぱさっき言ったように、今年度はこういう事業をやつて、こんだけ引き上げますよというか、予算措置もこんだけやるとかつていうのは行政評価でさすと思うとばつてんが、そ

やんともちよっと見えないなというのがあったですよ。

で、あともう一つ質問なんですけど。

○委員長（亀田英雄君） どうぞ。

○委員（野崎伸也君） よかですか。

目標値っていうのが全部ですね、いろいろ書いてあつとですけど、個別なところは余り言わぬとですけども、言いたくないんですけど、どういうふうに目標値をですね、設定されたのか、その根拠というのがですね、よくわかんないというのがあるんですよ。

個別に多分いろいろあつと思うとですけど、例えばですよ、例えば38ページのですたい、何だろう、これ、成果指標のところ、真ん中のところに表があつとですけど、中学校普通教室への地上デジタル対応テレビの導入ということで、29年度の目標が1つ書いてあつとですよ。何ですか、これっていう話なんですよ。1つ何ですか。どやんふうに決めたつとすかという話ですよ。個別に見ていくとですね、いろんなところですね、そやんとがあつとですよ。

例えば、84ページ、ここは港湾の関係ですよ。で、活動指標の中で、八代港の促進要望回数とか、企業訪問件数とかですね、ふやしてあつとですよ、29年度は。ふやしてあつとばってん、じゃあ何でこのふやすのかって話なんですよ。ふやせばふやただけいいのかちゅう話じゃなくて、そういったところも見受けられるというのがあつとですよ。

あと、何かですね、全体的になんですけど、市が率先してこういった事業をやるっていうのじゃなくて、この事業、主な取り組みの事業を見ても、これまでやってきたことが羅列されとつというふうに私は思うとですよ。よく見ていくと、ずっとですね。あ、これやっとな、いつもやってるよなって、毎年やってきてるよなっていうのがあつとですけども、じゃ

あ新たにというのは何かないのかなということと、じゃあ今までやってきた事業をプラスして、どんだけさらに上積みしていくのかと。鳥獣対策とかっていう、94ページに書いてあつとですけども、これ2400頭、シカ頭数ですね、捕獲とかって、これは毎年掲げとるごた数字じゃなかったですかね、たしか。

だけん、そういう何か個別のところ、どんだんどんつついていけばですね、いろんなとこが出てくつとばってん、市が率先して何か上積みしたとか、そういったものがちよっと見えぬとですたいね。今までやってる事業としか目に移らぬとですよ。

で、何かさっき言いなつたように、妙見祭の国指定何とかっていうのは、あれ市が率先してやったのかどうかっていう、私はそこがちよつと疑問にちよつと思うたですよ。

そういった、何か周りのところの力ちゅうかですよ、そういったものまで取り込んで、市が何かやったような感じで言われたのが、ちよつと私はあんまり気に入らぬだったですけども。どうですかね。

○委員長（亀田英雄君） ちょっと質問が多岐にわたっておりますが、この辺で一旦区切つて、お答え願いたいと思います。（委員野崎伸也君「申しわけない。個別に言うたらいっぱいあり過ぎて」と呼ぶ）

○委員長（亀田英雄君） 目標値と根拠。

○委員（野崎伸也君） 目標値、まず。どやんふうにですね。

○委員長（亀田英雄君） まず目標値、根拠がどうか。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） 目標値につきましてはですね、もうそれぞれの業務内容等によりまして異なっているものですから、ちよつと一概に申し上げることは難しいんですけど

も、基本的に現状の分析ですね、これまでの実績、それから必要とされる量あるいは目的に応じたところで、なおかつ5年間という時間の中でですね、実現、可能性のある数字設定ということでそれぞれで設定してございます。

ですので、本来もうちょっと高い目標を求めべきであったところもあるかもしれませんが、実現が難しいような数値を掲げても、指標としてどうかというところもございますので、数値設定につきましてはそのような基準です、5年間での必要性のある、なおかつ実現可能性のある数値というところで設定してあるところでございます。

それからですね……

○委員長（亀田英雄君） 野崎委員。

○委員（野崎伸也君） わかりました。何でしょう、各部門ごとにですね、いろいろな事業があるけんが、総括してからですよ、企画が何かいろいろっていうのは難しいんだろというふうに思うとですけど、もう少し精査する必要があるとじゃなかろうかなっていうふうに思うところです。先ほど言いました地デジ対応テレビ、1台っていう、無理な、掲げるのが難しいレベルの数字なんですか。現実的なのがこの1台なんですか、市内の中学校に関しては。

○企画政策課長（丸山智子君） はい、よろしいですか。

○委員長（亀田英雄君） 丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） 38ページの成果指標のところですね。中学校普通教室への地デジ対応テレビ、1教室当たりの台数（委員野崎伸也君「ああ、そういう」と呼ぶ）ということでございまして、1台ということでございます。

○委員（野崎伸也君） 各教室に、じゃあ1台ずつ置くちゅうことですね。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員（野崎伸也君） すいません、じゃあ私

が間違っておりました。申しわけない。

で……

○委員長（亀田英雄君） どうぞ、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） いいですか。で、何でしょうね、先ほども言ったですけども、市が率先してやるっていうような取り組みという中でですよ、例えば消防団の関係でいえばですよ、市の職員さんが今何人入っとるけん、次にはこんだけ入れるとか、そういった取り組みがあつてよかつじゃなかろうかなって、具体的な数値も書いてよかつじゃなかろうかなというのがありますんで。

個別にはもう言いませんけれども、もう少し何か事業内容とかも精査して、何か新規でやるような部分、新たな何か、新しいね、これは取り組み的につっていくようなものがあるような、この計画にしていいただければなというふうに思います。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 委員長。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。御指摘の部分、よくわかるところです。

ただ、これ、行政だけがこれのもとにやるということではないというふうに思っております。これ、やっぱ、八代市っていうのは、もちろん行政が主導していくんですけども、そこに市民の参画というものがあつて、一緒にそういった目標をクリアしていくっていいですかですね、そういった部分も当然出てくるわけですし、今後、特に市民協働という部分は非常にウエートが大きくなっていく。その中で、こういった数値目標をクリアに、達成していくといいですか、そういったことも当然我々が努力していかなきゃいけないことですけども、一緒に参加していただく努力といたしますかですね、そういったものでこの目標をクリアしていくということ。

それと、目新しいものが見えないというよう

な御指摘もあって、当然、これは前期計画を踏襲した部分がかなりございますので、何かどう新しいんだというのは見えにくいのは、確かに御指摘のとおりかと思います。ただ、この中で、先ほど言いましたように、実施期間のスケジュールみたいなのが見えてないっていうのがあるんですけども、これは実施計画3年間の中の1年目をこれをするんだという、実施計画をこれをもとにつくっていきます。その中で毎年スケジュール辺りも示していけるのも出てきますので。確かにきょうのこの資料の中では見えてませんけども、実施計画を策定する中で、スケジュールなんかもきちんと管理をしてきたいし、それをもとに予算化していくとかですね、予算とリンクした部分があります。

当然、これが毎年度毎年度やれる問題やなくて、5年間のうちの、じゃあ前3年でやるとかですね、後でやるとか、あるいは緊急度とかそういうったもので違ってくるんじゃないかなと思いますけども、そういうったもので管理をしていくということになるかと思うので、もう少し見えるような形を当然していかなきゃいけないと思っております。

○委員長（亀田英雄君） 野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい、ありがとうございました。

今言われたように、見えるような形で出していただけるというのは非常にありがたいなというふうに思いますし、また、先ほど部長も言われたように、毎年度の行政評価で出していただけるというのは非常にうれしいなというふうに思っています。もちろん議会でも決算のときにですね、それをもとにやっぱ決算もしていきたいというふうに思ってますんで、ぜひそういった形で、率先して取り組んでいただければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

また、これ非常に、一般質問になるようなネ

タがいっぱいあって非常にありがたいなというふうに思ってます。また今後、ぜひ一般質問の中で取り組ませていただきたいというふうに思います。

○委員長（亀田英雄君） ほかにありませんか。

○委員（友枝和明君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、友枝委員。

○委員（友枝和明君） 私もこのように立派な基本計画だと思います。一番大事なのですね、やっぱし市民に見える施策というのが一番私は大事だと思いますし、できることからスピード感を持ってですね、これが一番私は大事だと思う。これだけは5カ年で大変な仕事だと思います。一番大事なものは、先ほど野崎議員からも言われましたように、市民にどうしたあれで知らせるかということよりも、——それももちろん大事ですが、基本計画の中で、できることからスピード感を持って、これが私は一番大事だと思いますので、できることからひとつ頑張ってくださいと思います。

以上です。

○委員長（亀田英雄君） ほかにありませんか。はい、笹本委員。

○委員（笹本サエ子君） 17ページですかね。16ページから始まってますけど、人権文化の創造ということで、人権が尊重される平等なまちづくり、これはもう本当に大原則だというふうに思いますが、17ページに至って、人権同和というのが、同和っていうのが加わってるんですね。これは全国的に見ると、同和っていうのはだんだん外されていってるというのが言えるんじゃないかと思います。

八代は人権同和ということで、かなり大きなウエートを占める。予算も使われておるということを感じております。それで、もう少し全国的な状況もね、しっかりつかんでいただいて、計画をね、持っていつていただきたいというふ

うに私は思います。ここで言うことじゃないか
と思いますけど、その要望を担当課に伝えてお
いていただきたいというふうに思っております。

最近の状況を言いますと、埼玉県の本庄市と
いうところは、もう同和予算は全部外したとい
うふうになっておりますので、そういうのが全
国的にずっと広がっているというふうに思いま
す。だからといって、そこが人権を重視しない
ということじゃないんですよね。もっと人権と
いうのは幅広く捉えてやっていこうという立場
に立っておりますので、ぜひ本市におかれまし
ても、全国的な状況もしっかりつかんでいただ
いて計画していただきたいというふうに思いま
すので、要望しておきます。よろしく願いし
ます。

○委員長（亀田英雄君） はい。要望でいいん
ですか。

ほかにございませんか。

○委員（藤井次男君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、藤井委員。

○委員（藤井次男君） 全体的に非常に、説明
された中で、ようできとるわけですが、なか
かさっき太江田議員、鈴木田議員、友枝議員、
これ皆さんが言わたけど、なかなか見えにく
い。そこで、最初5項目に絞ってしてある。

そして、地域別まちづくり方針ちゅうところ
の3つ、東部、南部、西部とかつくってあつと
ですが、その中で、何を一番メインにするかと
いうことを自分なりに考えてみたとき、やっぱ
市民にわかりやすくするためにはですな、やっ
ぱ西部では港を中心とやるとか、そしとしゃが
な、東部では観光を中心にやるとか、それから
西部では豊かな農産物の生産を積極的にやると
か。何か市民にわかりやすい大きな項目をつく
ってですな、それに向かって、やっぱ小さな施
策を打っていくということも、非常に私は市民
の人にはわかりやすいと思います。

で、どこの地域をおいても、あれもやるも、
これもやるも、こやんします、あぎやんします
でして、やっぱりかち合う部分があつてです
な、明快な、市民にわかりやすい項目を挙げた
ほうが、やっぱり総合計画としては非常にいい
んじゃないかというふうに感じますので、意見
として話をしておきます。

以上です。

○委員長（亀田英雄君） ほかにございませ
んか。

○委員（友枝和明君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、友枝委員。

○委員（友枝和明君） 今の藤井議員の話との
関連ですが、3点の大きな目標というか、そこ
に重点的にですね、やっぱり各部署の予算編成
にもですね、これはもう生かしていただきたい
と思います。

○委員長（亀田英雄君） 要望でいいですか。

はい、永原部長、（企画戦略部長永原辰秋君
「はい」と呼ぶ）お答えを。予算に反映させて
いただきたいちゅうことなんですが。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。先ほど
申しましたように、これは基本的な考え方を示
したものでございます。これをもとに、個別計
画といいますか、それがこの後に出てくるわけ
でして、そこで予算をですね、予算とのきちん
としたリンクをさせなければ意味がありません
ので、先ほど言いました実施計画という部分の
中でですね、予算ときちんとリンクできるよう
にしていきたいというふうに思っております。

今、箇所づけの話も出たんだと思いますけれ
ども、当然その地域ごとにですね、必要な部
分、優先的な部分、重点的、早くすべき部分、
そういったものを精査しながらですね、予算配
分なんかも当然していかなきゃいけないと思
いますし、この辺はまた市長の施策あたりとも

ンクしていく部分ございますのでですね、毎年度の実施計画の中できちんと精査をしていきたいというふうに思っております。

○委員（藤井次男君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、藤井委員。

○委員（藤井次男君） 今の部長さんが説明されました、後の問題、施策について、小さい作成については、いつ頃でくるごたっですか。その、いつ頃できますか。子細にわたっての、大体想像で。そのときはまた説明願えるわけですか。ただ配って終わりですか。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 当然、整理できましたらですね、こういった形で御説明をさせていただきたいとも思いますし、これがですね、予算編成時期と非常にリンクした部分でですね、いつ頃整理できるかの、非常に作業的には難しいんですが、予算作業が先に進んでいったりとかするところもあるんですけども、基本的には我々予算を査定する際にも、この総合計画のどの部分ときちんとリンクしてるんだってことは、財政のほうでも精査をいたします。ですから、総合計画にうたっていない部分というのは、基本的には施策としては出てこないというふうに思ってます。

ただ、実施計画の中で変更という部分は当然出てまいりますので、何と言いますか、その辺で、見えるような形でですね、実施計画のつくり方とかですね、そういったものをつくりまして、御説明をさせていただきたいというふうには思っておりますけど。

非常にタイムラグが少しありましてですね、御説明しにくい部分もございますが、特にことは総合計画を先に、基本計画をつくらなんものですから、次の年度から次計画という形でできてくるんですけども、ことは特に見えにくいのかなというふうに思っておりますけど。

○委員長（亀田英雄君） ほかにございませんか。

○委員（野崎伸也君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。今の件ですが、来年度、個別のやつっていうのは来年度出されるちゅうことですか。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 25年度、一—あ、済みません。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 25年度、実施計画というのは毎年度の計画ですので、その3年間のローリングという形ですから、向こう3年間の分を整理していくというような形でやらさせていただきたいと思っています。（委員野崎伸也君「わかりました」と呼ぶ）

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。一つ要望というか、意見なんですけど、農業関係の第1次産業の関係ですよね。88ページから書いてあります。

で、見ていくと、まず第1番目にですね、農業というのが書いてあります。で、その次に、多分林業ですよ。で、漁業というようなことで続いとつとですけども、これを見るとですね、農業関係については非常にですね、ページ数もそうなんですけども、非常に具体的に書いてありますし、国や県の施策等も手厚いという部分で書きやすいのかなというふうに思いましたけれども。林業とか漁業についてはですね、ちょっと何か手薄だなというような感じをですね、受けております。

で、あと、農業についてはですね、担い手の育成というようなことを、全部に書いてあつとですよ。農業、林業、漁業について全部書いてあります。担い手の育成で書いてあつとですけども、農業だけに成果指数というのをですね、出してあつとですよ、担い手の。目標とし

てはですね、担い手をですね、育成というのを全部3つ掲げてあつとですけども、農業、林業、漁業も掲げてあつとですけども、成果指標は農業だけしか出とらぬとですよ。こういったところにですね、林業、漁業に対するですね、ちょっと本気度というのがですね、余り見えないなというふうに思うんですよ。

もう少し、——これ要望か意見かわかりませんが、もう少し精査していただいてですね、林業、漁業についてもですね、八代市にとっては非常に重要な産業ですんで、そちらについてもですね、もう少し手厚いようなところを基本計画ももちろんですけども、個別の計画の中にもですね、ちゃんと入れていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

○委員長（亀田英雄君） まだ案の段階ですけどですね、「うん、そうそう」と呼ぶ者あり）しっかり取り組んでいただくものと。

○委員（笹本サエ子君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、笹本委員。

○委員（笹本サエ子君） ちょうど今、野崎さんの意見でね、はっと思ったんですけど、せんだって、やつしろハーモニーホール市民ホールで、熊大の先生たち、教授、助教授といえますか、研究の発表会があってありました。で、肝心の八代海の再生といいますかね、このことについて、非常に熱心にあってたんですけど、非常に参加者が少なかったっていうですね。行政の方も非常に少ないんじゃないかなというふうに思ったんですね。だから、果たしてああいうのは行政のほうには要請はなかったのか。もっとね、八代海のことでするんだから、もっとみんながね、関心持ってますよということになると、研究者も非常に元気がついていくし、さらにまたね、研究重ねていこうというふうになっていくんじゃないかと思ったんですね。

だから、ぜひその辺りもですね、もう少しき

ちんとした対応を行政としてもやっていただきたい。で、これから、私はやっぱり球磨川の再生、八代海の再生、有明海、私は大きな宝を八代は持ってると思ってますので、そこに向けたいろんな企画については、きちんとキャッチしてね、そして行政の方も参加するし、市民も参加できるような、そういう状態をやっぱり積極的につくっていくべきじゃないかなというふうに思いましたので、一言要望や意見として申し上げときたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（亀田英雄君） ほかにありませんか。

なければ1つ。二、三、私のほうからお尋ねしたいと思います。

市民への連絡、周知というお話は何回か委員のほうから出たんですが、まず職員のですね、意識の共有化という部分について、どう……。これが一番大事と思うとですたい。職員は自分のところは知っとるけれども、ほかのところは知らないというのが大方だと。その辺もぜひ進めていただきたいというふうに思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

ああ、すいませんね。部長、私は二、三ありますけん、最後に答えていただけますか。

あとですね、1章と2章のボリュームの差というもの、これは何だろうかというふうに思いました。協働によるまちづくりの推進と、で、住民自治を今から推進する中で、これが2章が余りにもボリュームが少ないのじゃないかなというふうに思いました。

で、あと1点。前回、山口市と周南市に視察に行ったんですよ。そこで、行政評価という部分で、周南市では施策についても評価を行うというような取り組みをなさってありました。施策についてということになると、この部分まで入ってくるんですよ。それについて、どのように考えになるか、あと、八代市の取り組み

はどうかされるかについて。

もう、あとは再質問はしませんので、その3点について、ちょっと聞かせてください。

○企画戦略部長（永原辰秋君） 委員長。

○委員長（亀田英雄君） はい、永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。まず1点目の職員の意識ということですが、23年度にアンケートをいろいろとりまして、職員のアンケートも取りました。これは御説明しておりますけれども、おっしゃるとおりに職員の意識が非常に低かったという現実がございました。こういったものがあるというのを知らない職員もいたというのが、非常に恥ずかしい話でありました。我々のバイブルなんですね、行政を進めるための。それを知らない職員がいるというのは言語道断と私は言ったんですけれども、そういうことで。

ただ、つくり方自体は確かにわかりにくい部分があったので、普段の自分の仕事の中で、これはどうつながってるんだということがわかりにくかったという部分もあるんだと思います。予算化にしても、どの部分とつながってるのかつうのもわからずに仕事してるっていう部分もあったりとかですね。そういったこともあったもんですから、今回つくり方を少し、視点を変えてですね、やってみたということで、毎日の行政活動の中で、どの部分がこの総合計画にうたわれてるんだということをわかるような形、それが評価という形できちんと評価をする、それが次につながっていくというような形につくりかえていったというのが大きな……（委員長亀田英雄君「ずっと、つながとっとだいけんですね」と呼ぶ）はい。というところが、今回の大きなポイントです。

ただ、おっしゃるように、意識が上がらないことには、これに基づいて仕事をやってるんだという意識をですね、上げる努力をしなきゃなりませんので、こちらいろんな部分を通じてで

すね、研修あたりも。特に今まで総合計画の研修というのをなかなかやってこなかったというのは確かにございますので、意識改革といいますか、そういったものを当然やっていかなきゃいけないし、前回のアンケートみたいな恥ずかしい結果が次出ないようにですね、当然やっていかなきゃいけないのかなというふうに思っております。

当然、行政が知らないのを市民の方が御存じなわけないと思っておりますので、その辺はきちんとやっていかなきゃいけないと。

○委員長（亀田英雄君） ぜひお願いしときます。

○企画戦略部長（永原辰秋君） それから、すみません、1個飛びまして、評価の話なんですけれども、評価には幾つかのパターンがございまして、今やろうとしてるのは事務事業評価、実際やってるものを評価しようということ。その次の段階として、施策の評価で、行政評価ですね、それから政策評価と、いろんな段階で評価のやり方があるかと思えます。

我々が来年度からやろうとしてるのは事務事業評価を、——今、数を少なくしてますけど、基本的には全事業やろうというふうな基本方針を持っております。そのために今準備を進めておるんですけれども、その次の段階として、行政評価、施策評価ですね、そういったものにも取り組んでいきたいというふうに目標持っておりますので、今おっしゃったように、（委員長亀田英雄君「次にですね」と呼ぶ）次の段階としては、当然総合計画に即した評価といいますか、個別事業じゃなくてですね、施策としての評価あたりも取り入れていきたいというふうに思ってるところでございます。

それから、第1章と第2章のボリューム差ということですが、第2章については、これ市民と協働してやるっていう部分ですかね。（企画政策課長丸山智子君「はい、そうです」と呼

ぶ) ですから、第1章については、行政全体の総花というか、いろんな事業がこれに盛り込まれておりますので、当然ボリュームというのは大きくなってるのかなということだと思います。

第2章については、市民と一緒に進めるためにはということで、まちづくりの推進という形でやるという分ですから、ページ数的には確かにボリュームは少ないのかなというふうに思いますが、決してそれをどっちが重要だというようなことではなく、当然両方重要な施策だと思っておりますので、その辺御理解をいただければと思います。

○委員長(亀田英雄君) はい、了解しました。

ほかにございませんか。

○委員(太江田茂君) はい。

○委員長(亀田英雄君) はい、太江田委員。

○委員(太江田茂君) はい。いろいろ話の出ましたけれども、私自身思うことに、余りにも役所が縦割り行政になってしまやせぬかと。今、建設課は何しよとって、おら知らぬ、おら建設課じゃなかもんというような考え方。これは例えば建設課のことを頭に出しましたけれども、それは全ての中において、うちが400名近くの職員がおります。この職員が、今どんくらい、今、何に従事して、どやんしたふうな仕事をしよんのか。もちろん、知らぬでもよいかかもしれぬばってな、市が目標としているのは、市民の幸せを考えたところの行政のあり方だから、それは縦割り行政じゃなくて、みんながそういうことを考えるような職員になっていただきたいと。それをうちの総務課あたりがそういう指導をしていってもらいたいと私は思うわけ。やっぱし、これから全ての問題がそういう問題にかかわってくるだろうと思います。

私は、なん、あそこは私は担当じゃないけん知らぬもんじゃなくて、ああ、そやんですか、

なら、その問題は誰かれに聞いてみんならばわかるばい、どやんしたふうに進むんなら始まるばいというふうなことで、もうちっと職員です、400名が仲良く、八代市民のために何をせななんかを考えていただきたいと、かように思います。どうぞひとつ、今後ともよろしくお願ひします。

○委員長(亀田英雄君) はい、永原部長。

○企画戦略部長(永原辰秋君) はい。議員御指摘のとおり、我々の行政の仕事つうとは、市民サービスが第一でございます。そのために職員は仕事してるわけでございます。

それと、最近の仕事といいますのは、確かに、例えば建築、建設土木サイドの仕事とかいろんな仕事は、そこだけで完結する仕事というのは当然ございますけれども、最近は複合的といいますか、連携をしなければできない仕事、かなりたくさん出てきております。そういうことで、いろんな分で今プロジェクトっていいですか、横断的な組織をつくりながらですね、いろんな部署から集まって、これはどうしよう、ああしようということを検討しながら、今、進めていくような形を取っております。

特に部でいうと、次長を中心としてですね、次長会がしょっちゅう集まりまして、1つのテーマでいろんな意見を交わしながらですね、じゃあこれについては、ここでこうやろうとか、連携してやろうとかいう議論を今させていただいております、そういう形で、当然縦割り行政の弊害をなくすという形でですね、現在も取り組んでおりますけれども、さらにそういったものを、縦割りでやるんじゃないで、市全体として、市職員が全体として市民サービスに取り組むんだという意識を植えていかなきゃいけないと思っておりますので。

これは職員研修あたりでも、当然、今、人財育成課、名前も人財育成という形で人財育成に変えておりますけれども、職員研修あたりもそ

ういった取り組みを、——既にやってはいますけれども、さらにやっていきたいなというふうに思っております。

○委員（太江田茂君） では、もう……

○委員長（亀田英雄君） 太江田委員。

○委員（太江田茂君） はい。例えばの話ですが、日本一あいさつ運動でも何でも同じですよ。最初はえらい意気込みで、挨拶運動を日本一やろうじゃなっかちゅうて始まったやつが、もう今や3カ月もせぬうちに、だんだん消えていきよりやせぬかなと、そやんした感じも受けるわけですよ。そこら辺を、もうちょっと職員そのものも、また我々市民にも、ぴしゃっとしたところの、今、八代市はこぎゃんとしよりますもんなというようなことで、やっぱやってもらわなくちゃ、せっかく輝かしい目玉を決めても、それが曇ってしまやせぬかなと、そやんしとってというのが多々ありますので、今後は本当にやっぱし、皆さんが御苦勞とは思いますが、やっぱしやっていかにゃんいかぬ、やらにゃならぬということは、やってもらわぬかぬとですよ。

以上です。

○委員長（亀田英雄君） はい。よろしく願いしときます。

ほかにございませんか。

○委員（野崎伸也君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。すいません、またちょっと思いついたっていうか、あったもんですけん、ちょっと聞きますというか。

耐震の関係とかですね、安心・安全とかっていうようなところに掲げられとっと思うんですけど。あとスポーツの関係というようなところでですね、耐震の関係では、当然この市役所も入ってくると思うとですよ。で、スポーツの関係で行けば、全国規模の、そういったレベルのものをつくらぬといかぬという話もあるんじゃ

なかろうかなというふうに思ってます。

で、市民に対して一番わかりやすいというかですね、いろんなところで整備はしていかなければというような、何というか、抽象的な書き方はしてあつとですけど、具体的にですよ、計画というようなことであれば、何年までにつくりますとか、そういったどでかいものばどーんと出されぬとかなと。それが市民に対して一番わかりやすい。市民の人たちもですね、非常に関心事なんですよ、やっぱりそういったものは。県南運動公園ができればなという話もみんな知っとんなんです。八代市のこの市役所というのも、防災機能ないよねって。来たときどやんすつとやろうかと、いつ建てかえつとだろうかっていうのは非常に関心事なんですよ。そういう関心事に対して、目標年数をきちんと決めてやって、ここまでにやりましようとかっていう目標を掲げてやつとが一番総合計画として、そういった部分については浸透しやすかじゃなからうかなとは思うとですけどもね。まあ、財政的なものもあつて、なかなか具体的に年度を書けないというのはあつとかもしれぬばつてんが。そういった、何年度までやろうと、つくろうとかですね、そういったものを。

じゃあ、そのために市民の方に対しては、例えばスポーツ施設に対してはですよ、みんなでそういった機運を高めていこうとか、例えば署名でもやろうとかっていう、やりましようとか、そういった具体的なところまで書いていけばいいんじゃないかなというふうに私は思ったんですけども、どやんでしょう。書けぬとですかね。具体的な年数というのは。

○委員長（亀田英雄君） 永原部長。

○企画戦略部長（永原辰秋君） はい。確におっしゃるとおりに、具体的にいついつまでに何をつくるっていうのがですね、書ければですね、非常にわかりやすいつてのはあると思います。ただ、おっしゃったように、その裏づけ

されるものがきちんと、例えば財政的なものとかですね、予算的なものがきちんと裏づけなければ、これになかなか書きにくいというのがございます。それがきちんと今できてないから書けてないという現状もあると思うんですよ。

例えば、庁舎の建てかえ、当然もう建てかえなきゃ、——建てかえっていいですか、耐震なっていうのは出てますので、どうにかしなきゃいけないということです。当然、じゃあ、いつまでやるんだっていう議論を、今まだされていないのが現実です。ですから、もうそろそろ始めていかなきゃいけないというのは我々の中では、もうプロジェクトまでつくってスタートしようやというようなことは議論をいたしておりますので、25年度からそういったものが出てくるのかなと思っております。

ただ、そういった議論を経て、じゃあ幾らぐらいかかるんだとかですね、そういったものが精査されないと、なかなかいついつまでに、幾らぐらいの、どの規模でつくるっていうのは、なかなか出せませんのでですね、この総合計画の中では、まだそこまで議論し切っていないという、現状では出されていないというところだと思います。

それから、スポーツ施設にしても、目標としては文言では書いてございます。非常にぶわっとした形ですので、じゃあ、それを具体的にどうすんだというのが、先ほども言いましたように、実施計画で年度計画をつくっていくっていうのがこれからの作業だと思います。

この中でそこまでうたい切れればですね、非常にわかりやすいのも事実だと思いますけども、なかなかそこまで詰めていき切れてないというのが現状でございます。財政的なものも含めてですね、あると思います。

御承知のように、今、我々は環境センターという大前提がございます。もう1つは学校耐震

というので、とにかくやらなきゃいけないという大前提がございます。財政投資としての経費のほとんど、それに今使っているような形になってますので、今の財政力の中で、どこまでどうできるのかっていうのがですね、もっと精査していかなきゃいけないのかなと。

ただ、やっぱしやらなければいけないことはやらぬばんわけですから、その中でやりくりする。そのためにはやっぱし行革といいますか、これは市民の皆さん方にもお願いする部分、当然出てくると思うんですね。痛みといいますか、そういうのが出てくるかもしれませんが、そういったことをやりながらでも、やっぱし達成しなきゃいけないことっていうのは当然出てくるわけですから。そこはやっぱし、先ほども言いましたように、実施計画の中で、もう少し具体的にできるように詰めていかなければいけないかなというふうには思っております。

以上でございます。

○委員長（亀田英雄君） 野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。まだ事前段階ができとらぬけんが周知できない、目標として掲げらぬとですよんていう話だったと思うんですよ。で、何て言うかですね、先ほどもいろんな議員の方、どうやって周知するのって話があったですけども、八代市がですね、今度25年度新たに総合計画後期基本計画っていうのをを出しましたっていうようなニュースが載れば、新聞とか報道とかですね。それが載るか載らぬか、それは載るのがいいのか悪いのかってなっかもしれないですけども、そういったぐあいにアピールできるような内容を載せるには、やっぱしそういった目新しいものだったり、ああ、八代市はこういった基本計画を出して、市の庁舎は何年までつくるというのを掲げてましたねっていうような、そういったものがないと、やっぱなかなか周知というのは難しいのかなっていうふうに思ったんで。若干そういったところが

あればですね、よかったのかなというふうに思
ったっですけれども。

今、部長のほうからはそういったですね、今
後に向けて、いろいろ力強いことも言われまし
たんで、期待をしたいなというふうに思ってい
ます。市民に対しては、やっぱりそういったアピ
ールポイント、そういったのが載ってるんだろ
うというふうに、だけん読んでくださいねと言
えるようなものがあればよかったかなと思いま
したんで。はい、意見ですね。

○委員長（亀田英雄君） ほかにありません
か。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） ないようでしたら、
以上で、総合計画後期基本計画（案）について
終了したいと思います。実際きょうの会議ど
うなるか、心配しとったですよ。そんな中でも
ですね、各委員さんより貴重な意見をいただいた
というふうに考えておりますので。まだ案の段
階ということで、どのように反映されるかは執
行部のほうで検討されてですね、それぞれのい
い部分を取り上げて、どうにか反映していただ
きたいというふうに考えておりますので、どう
ぞよろしくお願い申し上げます。

そのほか、当委員会の所管事務調査について
何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） はい。なければ、そ
れでは以上で、本日の委員会の日程はすべて終
了いたしました。

総務委員会を散会いたします。

（午前 11 時 08 分 閉会）

八代市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定に
より署名する。

平成 25 年 2 月 5 日

総務委員会

委員長